

第2回議会基本条例特別委員会会議録

- 1 開会日時 平成26年6月26日（木）午前10時0分
- 2 閉会日時 平成26年6月26日（木）午前11時32分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員
1 番 佐々木雄司君 6 番 治徳 義明君 7 番 原田 素代君
8 番 金谷 文則君 10 番 松田 勲君 13 番 福木 京子君
15 番 岡崎 達義君 18 番 小田百合子君
- 5 欠席委員
な し
- 6 事務局職員出席者
議会事務局長 富山 義昭君 主 査 大饗 剛君
- 7 協議事項 1) 議会だよりの原稿について
2) その他
- 8 議事内容 別紙のとおり

午前10時0分 開会

○委員長（岡崎達義君） 皆さんおはようございます。

第2回議会基本条例特別委員会を開きたいと思います。

きょうはお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

きょうは、正式な委員会ですので、ぜひ発言なさるときはマイクのスイッチを入れて発言していただきたいと思います。

それでは、始めたいと思います。

まず、協議事項の第1、議会だよりの原稿について協議していただきたいと思います。

事務局のほうから、よろしくをお願いします。

○議会事務局主査（大饗 剛君） 失礼いたします。

まず、お手元の資料のA3のものをごらんください。きょうおつけしている資料は、こちらは浅口市の議会だよりに載せられていました議会報告会の結果についてということで、この間ありました班長会議のときにお配りしましたのが他市のものなのですが、そちらにつきましては、参加された方の人数的なものでありますとか、そういったものを円グラフにしたものを中心に載せておりましたので、今回は出た御意見等を中心に載せておられるところの市を参考としておつけしております。

この今回の議会だよりへ載せる原稿につきましてですが、こちら、締め切りのほうが7月7日を思っただけであればと思いますので、そちらまでに原稿の案を作成していただければと思いますので、御協議のほどよろしくお願いいたします。

以上です。

○委員長（岡崎達義君） ありがとうございます。

そういうことですので、この浅口市の議会報告会のこれをたたき台といいますか、参考にし、て協議していただきたいと思います。よろしくをお願いします。

○委員（佐々木雄司君） 済みません。

○委員長（岡崎達義君） はい、佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） 確認なんです、ページ数って何ページになっているんですか、使えるページは。

○委員長（岡崎達義君） 2ページです。

○委員（佐々木雄司君） もうじゃあ、まあ……。

○委員長（岡崎達義君） そうです、そうです。

○委員（佐々木雄司君） こうなるのか、こうなるのかという、こう……。

○委員長（岡崎達義君） これと一緒にです。

○委員（佐々木雄司君） こうなるんですかね。

○委員長（岡崎達義君） こうなるんですかね、こうなりますよね。

○議会事務局主査（大饗 剛君） のように……。

○議会事務局長（富山義昭君） 見開きで。

○委員（佐々木雄司君） ページ数をふやすっていうのは、予算の関係でだめなんですか。

○委員長（岡崎達義君） 今のところ無理だと思います。

どなたか御意見ありませんか。

○委員（福木京子君） ちょっといいですか。

○委員長（岡崎達義君） はい、福木委員。

○委員（福木京子君） これは、だからこれだけということは、相当抜粋というんか、絞って
いって、あとこの分は全議員に渡しましたよね。いや、この分、だからこの、議員は全部知っ
といて、あとこれを簡潔に全、皆さんにお知らせするために……。

○委員長（岡崎達義君） その他で言おうと思っていたんですが、前の班長会のときに、佐々
木委員のほうからアップするようにと、ホームページにアップするようという話がありまし
て、この報告書のまとめは全部アップするんですよ。

○議会事務局主査（大饗 剛君） そちらが案ということで。

○委員長（岡崎達義君） これが案なんですか、アップする案です。

○副委員長（治徳義明君） こっちがね。

○委員長（岡崎達義君） はい。その中から、まとめの中からこの議会広報へ載せればいいな
ということなんですが。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（岡崎達義君） はい、どうぞ。

○委員（原田素代君） 非常にコンパクトに定型的にもうおさまってるこの浅口市の分で、基
本的には読みやすいですし、これが5会場になるんで、ちょっと詰めないといけませんけど、
いいのかなと思いました。

それからもう一つ、御自由という自由記入のアンケートのところです、以前いただいたの
がこれで、今回こういう形にさせていただいて、これはボリューム的にはどういうふうにいじっ
てます。

○委員長（岡崎達義君） 事務局、お願いします。

○議会事務局主査（大饗 剛君） はい、済みません。お手元にお配りしているアンケートの
集計につきましては、前にお渡ししたものと基本的に内容は変わっておりません。どうしても
読めないところが済みません1カ所ありましたので、そちらについてはちょっと削除をさせて
いただいております、それ以外のものは全部載せております。

○委員（原田素代君） はい、わかりました。

済みません、もう一つ。

○委員長（岡崎達義君） はい、どうぞ。

○委員（原田素代君） そうすると、今回編集してくださったものがホームページに上がるということですね。

○議会事務局主査（大饗 剛君） はい。

○委員長（岡崎達義君） はい、どうぞ、事務局。

○議会事務局主査（大饗 剛君） とりあえずそれがホームページに載せるものの案ということで御協議いただければと思います、はい。

○委員長（岡崎達義君） それで、とりあえずこの議会広報に載せるほうをどういうふうにするかという、方法を少し協議していただいて、意見を述べていただければと思うんですけども。この実施報告書の中からまとめて、まとめてというか、抜粋して載せるようにしますか、それとも詰めてでも、全部というのは無理でしょうね、これ。

○委員（原田素代君） 全部は絶対無理と思います。

○委員長（岡崎達義君） 無理ですよ。

○委員（金谷文則君） ちょっと、済みません。

○委員長（岡崎達義君） はい、どうぞ、金谷委員。

○委員（金谷文則君） 今ここへ2種類あって、例えば中央公民館のところの主な意見のところの第一番上は、新設の松木云々と書いてあるんですけど、こっちにアップさせるやつを見ると、頭は人数が少ないというところから90分云々かんぬんがあって、松木っていうものがどっかに載ってるんですかね、中央公民館。

○委員（原田素代君） 一番上にあります。

○委員（金谷文則君） えっ。

○委員（原田素代君） このまとめのところでしょ。

○委員（金谷文則君） いやいや、これはインターネットへアップさせるんでしょう。

○委員（原田素代君） いや、違う違う。それは自由記入のほう。

○委員（金谷文則君） ああ、これとあれとは違うわけか。

○委員（原田素代君） だから、こっちが、うん。こっちのコンパクトになって、2枚の、これ。

○副委員長（治徳義明君） これじゃねえん。

○委員（原田素代君） きょう配られた、これ、これとこっちが一緒なんです。

○委員（金谷文則君） これをアップさせるわけ。

○委員（原田素代君） 案は両方とも。

○委員長（岡崎達義君） どうぞ、事務局。

○議会事務局主査（大饗 剛君） 済みません。問7と書いてあるほうがアンケートのほうの自由筆記のところをそのまままとめたものです。もう一つのほうのまとめとありますが、こちらが各班ごとに出していただきました実施報告書をまとめたものでございます。

- 委員（金谷文則君） はあはあ、じゃあアップさせるのは両方アップさせるということ。
- 議会事務局主査（大饗 剛君） 両方アップさせるということで。
- 委員（金谷文則君） それで、これをまとめてたくさんの項目で言われてるのが、せっかくここへ載っとするんで、浅口のほうは浅く簡単に書かれとんかもしらんけど、できたらこういう意見があったというのは、最初じゃからもう全部そのまま載っけたってもいいんじゃないかなと私は思うんですけど。
- 委員長（岡崎達義君） ボリューム的にどうかということじゃない、5会場あるから。浅口の場合は3会場。
- 委員（金谷文則君） 入れるべきじゃないかな。どれが必要でどれが必要でないなんていうのは、申しわけないけど、自分たちで判断していいのかどうか。一遍はこうやって上げといて、こういう意見、ここはこういう意見は余りこんなこと言うてもろうてもしょうがないなと思うのがあったかもしれないけど、意見があれば一遍載せてもいいんじゃないかなと思います。
- 委員長（岡崎達義君） どうですか、ボリューム的に、これを全部。
- 委員（松田 勲君） こっちだけ。
- 委員（金谷文則君） これだけ。
- 議会事務局主査（大饗 剛君） こっちだけ。
- 委員（金谷文則君） 5会場、これだけね。アンケートのほうはホームページに載せればいい。ホームページやインターネットに載せればいいんだろうけど。
- 副委員長（治徳義明君） 済みません。
- 委員長（岡崎達義君） はい。
- 副委員長（治徳義明君） でしたら、もう今のこっちの意見のほうが主で、前いただいたこういったデータのなものはもうなしということでよろしいんですか。もう2つ、2種類。これはなしで。
- 委員長（岡崎達義君） データ的なものはホームページにアップということになるんですか。それとももうこのデータのなものは今回は載せない。
- 議会事務局主査（大饗 剛君） データとおっしゃる……。
- 委員長（岡崎達義君） 前いただいた、こういう感じのデータです。
- 議会事務局主査（大饗 剛君） ああ、人数的なものをまとめたものということですか。
- 委員長（岡崎達義君） はい。
- 議会事務局主査（大饗 剛君） そちらについてはもう載せております。
- 委員長（岡崎達義君） あっ、ホームページのほうへ。
- 議会事務局主査（大饗 剛君） それはもう班長会議で決めていただきまして、載せるということで。自由筆記のところにつきましては、後日諮るということで、そういうお話で終わっ

てましたので、はい。

○委員長（岡崎達義君） ああそうですか。

○議会事務局主査（大饗 剛君） 円グラフについては載せております。

○委員長（岡崎達義君） 見てないので済みません。

○委員（松田 勲君） ただ、広報に出ると見える人と見えん人があるから。だから、広報には載せれん、同じように。

○委員長（岡崎達義君） 広報にはちょっと無理じゃね。

○委員（松田 勲君） 無理なんです。

○委員長（岡崎達義君） これはでしょう。こういう感じのでしょう。

○委員（松田 勲君） だから、編集、これで削るとこなかったら、どうしても3ページじゃないですか。だから、中途半端だから、4ページにして。年に1回だけでも。

○副委員長（治徳義明君） ふやして。

○委員長（岡崎達義君） 今からふやせますか、ページ数。

○委員（金谷文則君） 編集委員会にもお諮りせにゃあいけない。

○議会事務局主査（大饗 剛君） ちょっと、こちら、今即答はできないんですけども。

○委員長（岡崎達義君） ああ、編集委員会で。

○議会事務局主査（大饗 剛君） そうですね。

○委員（佐々木雄司君） ページ数をふやさんでも、例えばB4のこの1枚カラー、僕とかはいつも使わせてもらってる、前から使わせてもらっている印刷屋さんがあるんですけど、これ1万刷ってもカラー両面で、1万刷っても2万円ぐらい。ぺらぺらとした紙で、つるつるとした紙ですけど、広告のような。あれささっと2万円ぐらい刷ってページ数をふやすというか折り込んでだったかだっただか入れてあげたら、報告は報告のほうで。だから、両面使えるんで、議会報告だと、なら結局4ページふえることになる。2万円で4ページぐらいになったらどんなんですかね。

○議長（小田百合子君） どんなんですかね、松田委員。

○委員（松田 勲君） そりゃあ安いと思うな。

○副委員長（治徳義明君） 2万円というて、折り込み代というのがかかるじゃろう。

○委員（佐々木雄司君） 折り込み代はもう……。

○委員（金谷文則君） 2万円が4万円かかってもじゃな、そりゃあ……。

○副委員長（治徳義明君） 倍かかる。

○委員（松田 勲君） だから、別のところのを入れるというのはなかなか難しいと思う、多分。

○委員（金谷文則君） いや、まあ無理じゃけ。

○委員（佐々木雄司君） ああ。

○委員（金谷文則君） だから、それは、今度配るところに入れてもらやあええんじゃから、それぞれ支所に持って行って、みんなで区長さんところで分けてやるんじゃから、そのときに一緒に入れてもらやあええ。

○委員（松田 勲君） 区長さんがやるん。

○委員（金谷文則君） 区長たちがみんな一緒にするで。

○委員（松田 勲君） 区長は無理じゃろう。

○委員（佐々木雄司君） そのための行政事務委託……。

○委員（金谷文則君） いやいや、行政事務のあれを配るときに……。

○委員（松田 勲君） そりゃあちょっと無理だと思う。

○委員（金谷文則君） あの中に全部入れていくやろう、じゃけど。

○委員（原田素代君） 岡崎さん、仕切って、発言を。

○委員長（岡崎達義君） ああ、ちょっと、順番に言うてください。

○委員（福木京子君） もういい。

○委員長（岡崎達義君） はい、どうぞ、福木委員。

○委員（福木京子君） 一応それでももう2ページということでこれまでも……。

○委員（原田素代君） あ、マイク。

○委員（福木京子君） 入ってる、入ってない、うん。

来てるんだから、これは見やすいんだけど、できるだけ意見を入れるということと、この構成みたないのが変えられんのでしょうか。だから、写真をもう3枚も入れずに1つぐらいにするとか、ここの右のこの文言を3分の1ぐらいに削るとかして、できるだけ意見を載せてあげる、すると、どうしても抜粋になりますよ、それはもう2ページは。だけど、それはホームページに出すんじゃから、私は今回はそれでいいんじゃないかと思うんですけど。

○委員長（岡崎達義君） 文字が小さくなりますよね。段が今5段で編集しているんですかね、広報は。

○委員（松田 勲君） 6段じゃろう。

○委員長（岡崎達義君） 6段。6段で編集……。

○委員（松田 勲君） 3段3段じゃから6段。

○委員長（岡崎達義君） 6段で編集して、一番上に今市民に開かれた議会を目指してとか何か。

○委員（原田素代君） それを入れたら5段になると思う。全部……。

○委員長（岡崎達義君） だから、これを入れたら5段になるから、5段だったらどんなですか。詰めたらこの全部入りません。一回やってみます。ちょっと多いんだけどな、文字数が。

○委員（原田素代君） これで3枚ですね。

○委員長（岡崎達義君） うん。

- 委員（原田素代君） で、こっち2枚だもんね。
- 委員長（岡崎達義君） うん。
- 委員（原田素代君） 難しい。
- 委員長（岡崎達義君） ちょっと難しい。写真も必要だろうし。
- 委員（松田 勲君） どうしても入れにゃあいけんというたらもうはしよるしかない。似たような質問があったらそれをまとめる。ほとんどが地域のカラーが出とるからな。
- 委員（金谷文則君） 地域でこういう意見が出たということが重要だと思う。
- 委員長（岡崎達義君） だから、地域、写真も5会場だから5枚要るわけでしょう。それに、こんだけいろいろ出たら、やはりちょっとはしよったほうがいいんじゃない。
- 副委員長（治徳義明君） はしよったほうが僕もええと思うんです。もし入れるんだったら、先ほど広報委員会じゃあページ数をふやせれんというて、何、その理由がようわからないんですけど、2ページ。
- 委員（金谷文則君） そりゃあ広報委員会でページ数決めとるからです。うちで決めるわけに……。
- 副委員長（治徳義明君） ページ数を決めとるということ、広報委員会で。
- 委員（松田 勲君） そりゃあ決めとる。
- 副委員長（治徳義明君） そういうこと。
- 委員長（岡崎達義君） うん。
- 副委員長（治徳義明君） いや、2ページぐらい何でふやせれんのかようわからん。
- 委員（松田 勲君） ページ数は今回予算をふやしたわけじゃないん。前のままのページ数でいくということ、24ページか何かの、何ページか。
- 議会事務局主査（大饗 剛君） 済みません、総ページ数はちょっと聞いてはないんですけども。
- 委員（松田 勲君） いや、だから通常のページ数を今回はふやしとんかどうかというの。
- 議会事務局主査（大饗 剛君） ちょっと確認。
- 委員長（岡崎達義君） だから、今恐らく16ページでいってるんじゃない。
- 委員（松田 勲君） 16ページかな。
- 委員長（岡崎達義君） だったら4ページふえるから20ページになる。
- 副委員長（治徳義明君） 長いことずうっとやっとなのが、そのくらいのサービスをするでしょう、普通なら。
- 委員（金谷文則君） だから、それは違うんだって。ここは議会基本条例の委員会であって、広報委員会でやらんことにはだめなん。
- 副委員長（治徳義明君） だから、広報委員会のほうへページ数をふやすようお願いをすりゃあええじゃないですか。

○委員（金谷文則君） 7日までにするのに、きょうお願いをして諮ってもらうことはできませんでしょう。

○副委員長（治徳義明君） 通常、新聞でも文字を大きゅうしょうかというて、もうみんな新聞社さん皆文字を大きゅうしょうる時代に、議会だよりは文字を小そう小そうして、もうそれはだめでしょう、こういうことをするのは。

○委員長（岡崎達義君） いや……。

○委員（松田 勲君） でも、基本は、各議員さんがしゃべったのも、大分はしょってあの中にもうみんな入れとるし、予算も全部いろんな意見があるのをはしょってはしょってどっかに入れとるから、今回はそれをこのまま入れてくれというのは、ちょっと難しいと思う。

じゃけん、もう少しこれ集約できるものは集約してやって、どうしても2ページでいかにゃあいけんのだったらそういうふうにするしかないんじゃないかと思う。

○副委員長（治徳義明君） 済みません。集約したほうがええと思うんですけど、皆さんの意見が全文載せるようにという意見が多かったから、そう言うだけの話なんです。僕も基本的には集約すべきだと思ってますけど、はい。

○委員長（岡崎達義君） どうでしょうか。

○委員（福木京子君） 私は集約でいいと思います。

○委員長（岡崎達義君） あっ、集約で。

原田さんどんなですか。

○委員（原田素代君） お金の反対だとは思ってないので、あくまで編集委員会のほうでこちらの強い意向があったら、それはできると思うんです。編集上、ページ数の半端が出ないように。だから、ただ市民が何を望んでいるかなっていうふうにしたときに、余りボリュームがあってもそうそう読むものでもないだろうと思っていて、とにかく一回こういう形でやりましたと。主にはこんな意見がございましたというのを会場ごとにこのように、どの会場からこんな意見が主に出ましたというぐらいのほうが、とりあえず皆さん見やすいのかなとは思いますがね。それで、見たい人はホームページ、ここにもちゃんと丁寧にありますし、それから、ここ一番後ろには議会の議員はみんな報告を理解してますので、皆さんの思いはちゃんと伝わりますよっていう、こういった親切な一言も添えた形で、私は2ページで入るようにしたほうが、市民からすると見やすいのかなと思う。

○委員長（岡崎達義君） 集約したほうがいい。

○委員（原田素代君） そうですね、はい。

○委員長（岡崎達義君） いかがですか、佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） 集約も一つのやり方なんですけど、議会報告会に何を望むのかというところが僕はありまして、こうやってせつかく御意見を下さった方の、例えば重要な意見、すばらしい、会心の一撃というか、何かすごいやっぱりずどっといくような手応えのある

ような質問をしている方が、自分のそのものがはしょられて載ってなかったときの肩を落とす姿というのを考えたら、何かやっぱり申しわけないなという気持ちはします。

むしろ、そういう方が、自分の意見がこうやって載ることによって、参政権というか、政治に対しての関心が強まって、周りに対して赤磐市議会変わってきたぞということを言っていたら、要するに議会のファンになっていただければ、よりよく我々の活動もしやすくなるし、市民の方々に対しての市政報告とかも浸透しやすくなるのかなと思ったら、二重、三重の意味が僕はあるように思います。

以上です。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（岡崎達義君） ありがとうございます。

はい、原田委員。

○委員（原田素代君） そういう思いは実はこっちのほうに、別紙のほうに出てるんです。やっぱりこれはどうやったって載せれないわけですから、きちんとホームページもしくは議会事務局のほうに問い合わせてくださいということで、読みたい方は読める手だてがありますという前提の情報を発信することで十分いいのかなと思います。決してここだけでないので、その意見も重要だと思います。

○委員長（岡崎達義君） ほかに御意見。

○委員（金谷文則君） 私は先ほども申し上げましたけども、できたら全部載せていただきたいというのは、ここへまとめて出したやつも、これも主な意見で、必要であろうと思ったものをここへ集約をして上げとるわけで、必要でないのなら削って出してくださいやあよかったと思います。主な意見ということですから、多分主たる意見だろうと思うので、できたら全部入れていただきたいというふうに思います。

○委員長（岡崎達義君） 松田委員はどうですか。

○委員（松田 勲君） ちょっと今見ただけでも、これまだ集約できると思うんです。例えば、最初のところで、丸3つ目のとこです、産業建設常任委員会の報告の中でとかというのがあります。これは別に太陽光発電の話をされとんだけど、こんな長い文章は要らないんじゃないかな。カットできるんです、赤磐市のとこまで、赤磐とか、そういったいろいろカットしていけば、これもうちちょっと、例えばこれでいうたら、この1枚ぐらいは少なくなる。もうちょっと言い方を統一するとか、もうちょっと、これは要らないだろうなというんが、今見ただけでちょっとあるんで、それをもっとすれば、さっき言われたわかりやすいふうになるんじゃないかと思う。余りようけ全部入れても多分読まないと思うし、もちろん写真も入れにゃあいけんでしょうし、だからそれをもう一回ちょっとこれ見直しして、カットできるところをカットして、重なっている言葉とかちょっとカットしていきやあ……。

○委員長（岡崎達義君） 集約したほうがいい。

○委員（松田 勲君） うん、これぐらいは短くなるんじゃないかなと思います。

○委員長（岡崎達義君） わかりました。

治徳委員。

○副委員長（治徳義明君） 済みません。今先ほど金谷委員さんも言われてました、この報告のまとめが全てでは基本的にはないわけですし、主要な部分でありますし、この先もう少し集約はできるんじゃないかなとは思うんで、基本的には集約すべき。もし集約しないという話であれば、先ほど申しましたように、広報委員会のほうにお願いしてページ数をふやすという形をすべきで、先ほど意見があった、小さく小さくやるというのはちょっと字が、文字を小さくしてというのはちょっと好ましくないと思っています。

以上です。

○委員長（岡崎達義君） はい、ありますか。

○委員（金谷文則君） 済みません、つけ加えで。

○委員長（岡崎達義君） はい、金谷委員。

○委員（金谷文則君） 集約できるところは集約すりゃあいいと思うんです。だけど、5つの会場でそれぞれ書記がおられて、書記をしておられる人がその班の中でこれで出しますという確認をとって出されとるわけだから、その班の中でここをこう削ってええですよという了承をやっぱりきちっとしたもので出してもらって、それをうんと短くするなら短くすりゃあいいと思いますし、それは載っけてもらやあいいと思うんです。そうしないと、我々が勝手にここを削除しますよといったところで、この班の中でこれが了承されとるやつを、おまえ何でそんなことをするんやという話だってなきにしもあらずだと思うんで、了承されればそれでいいんじゃないかと思えますけど。

以上です。

○委員長（岡崎達義君） ありがとうございます。いろいろ意見が出ましたけど、原則としては、この報告会の報告書というのは全文載せるべきだと思うんです。ただ、時間の関係もありますし、それからボリュームの関係もありますので、すぐにすぐこれを全部載せてというようなことにはならないと思いますので、何でしたら、これまとめのほうもアップできるんですよ、ホームページで、これも。

○議会事務局主査（大饗 剛君） はい。

○委員長（岡崎達義君） するんですよ。

○議会事務局主査（大饗 剛君） はい。

○委員長（岡崎達義君） ですから、集約した上でまとめはホームページで見ていただくとか、あるいは事務局へ来ていただいて見ていただくとか、そういうことをすればいいんじゃないかなと思うんです。大まかなところはこういう形で載せましたという形で広報に載せると。あとはもうホームページへ全部アップしていくと。今言った、こういうアンケート、グラフの

調査結果も全部載せるということではどんなですか。

○委員（金谷文則君） 結構です。

○委員長（岡崎達義君） よろしいですか。

○委員（佐々木雄司君） あともう一個なんですけど。

○委員長（岡崎達義君） はい、佐々木委員さん。

○委員（佐々木雄司君） 気づいたんですが、議会報告のほうに、事務局に用意してますよとか、あとホームページに書いてますよというものを載せるだけじゃなくて、広報あかいわのほうにも。

○委員長（岡崎達義君） ああ、もちろん。

○委員（佐々木雄司君） 行政のほうにも、こういうのを議会報告会の様子を皆さんからいただいたアンケートをアップしてますよということの文言というものは、ちょっと一棹切ってもらって、報告会のお知らせもしていただいたわけですから、その分の仕上げの部分で上げましたよ、報告のアンケートの分析が済んでこうしてますよというものを載せていただくといいかなど、はい。

○委員長（岡崎達義君） どんなですか。皆さん、それでもよろしいですか。

はい。

○委員（原田素代君） 今まさに締め切り。うん、別件で言って。早く下さいと言われてて、囲みで何か……。

○委員長（岡崎達義君） はい、福木委員。

○委員（福木京子君） 金谷さんが言われたように、ある程度絞ったときに、これ結構多いんで、この辺でどこどこ絞るかというのを5つか6つぐらいになりますかね。

○委員長（岡崎達義君） そうですね。

○委員（福木京子君） 多くても……。

○委員長（岡崎達義君） 人数と比例したような形で、例えば桜が丘だったら32名ですから、5つ、6つということにはならないでしょうから、先ほど松田委員が言われたように、最後の3ページ目の1枚がなくなるぐらいで集約したらどうかとは思いますが。

重なってる、どうですか、皆さん読んでいただいて。重なってるということか、例えば吉井支所の議会報告会は参加人数の多少にかかわらず、次回も開催されるのかというような話は、もうこれは要らないんじゃないかなと思うんですけど、こういうところをちょっと削っていけばと思うんですが。

○委員（佐々木雄司君） これも思うんですけど、地域的なものを、ああそうか、地域の声ですからね。

○委員長（岡崎達義君） ただ、ここへ載せてるのは、ほとんど行政に対する要望みたいな形になっているんです。議会に対する要望というよりは、行政に対する要望というような形にな

ってますので。

○委員（佐々木雄司君） まとめると、政策立案能力を高めてくださいよということですよ、各議員さん。例えば、PM2.5について、赤坂のほうなんですけど、しっかり対応してほしいなんかは、もう赤磐市全体の話になってくるんで、まさに考えなきゃいけないような問題なのかなと思ったりもするんですけど、どこそこの泥がだとか、どこそこの道がとか、草刈りがとか、何丁目だったか、地域的なものってどうなんかなというふうに思うんですけど、そこらが地域の話ですから、なるんでしょうね。

○委員長（岡崎達義君） どんなですか、ちょっとずつちょっとずつやっていきますか。

○委員（佐々木雄司君） 刈り込みしますか。

○委員長（岡崎達義君） はい。お願いします。

○委員（原田素代君） ここで、今。

○委員長（岡崎達義君） もちろん。ここへしないと……。

○委員（原田素代君） 原稿を分担するんじゃないの、担当者を決めて。

○委員長（岡崎達義君） ですから、これはもうアップしますんで、全文。ですから、広報に載せるのは今現在ここで。

○委員（原田素代君） 全員でやる。

○委員長（岡崎達義君） はい、全員でやっていただかないとちょっと間に合いませんので。これでまた……。

○委員（原田素代君） あの……。

○委員長（岡崎達義君） はい、どうぞ。

○委員（原田素代君） さっき金谷委員がおっしゃったように、各班ごとに了解を得たいという御意見はもっともだとも思うので、ここで5つの班でそれぞれ班長さんが担当していただいて、班長さんのほうで班のほうで一応回覧していただいて、御意見をまとめていただくっていう分担をしたらいいんじゃないのかなと思うんですけど、ここで全体を調整するっていうことになるのかな。

○委員長（岡崎達義君） どうですか、事務局のほうは。時期的な、時間的なもの。

○議会事務局長（富山義昭君） 7日ですか。

○委員長（岡崎達義君） 7日ですか。

○委員（金谷文則君） そりゃあ委員長、原田さんが言われたように、そこへ皆班がおるんじゃないから、もうそこで、はいこれを、要するに3項目だけにしてください、4項目にしてくださいってもう言って、そこでほんならこれとこれとこれって決めちゃったらいいい、2人ずつおるわけやろう。

○委員長（岡崎達義君） そうしますか。

○委員（原田素代君） っていうか、ここでっていうか、だからほかの班の方にも、だから班…

…。

○委員（金谷文則君） ほかの班も皆おるわけじゃろう、ここに。

○委員（原田素代君） いや、だけどほかの班の方がいるわけだから、それぞれの班のほうで回覧してもらって、承諾を得て7日までに用意したほうがいいんじゃない。

○委員（松田 勲君） きょうある程度決めとったら、あした議会で、終わった後にちょっと確認できるかな。

○委員（金谷文則君） こういうふうに削りたい、これとこれと載せたいというものをつくったらいい。

○委員（松田 勲君） 了解ができる。

○委員長（岡崎達義君） そうしましょう、そのほうが早いんじゃない。

○委員（原田素代君） じゃあ、ここでやる。

○委員長（岡崎達義君） ここでとりあえず。

○委員（金谷文則君） それぞれのあれで、班で……。

○委員（松田 勲君） 了解は各班でもろうて。

○委員長（岡崎達義君） そうですね。

○委員（松田 勲君） 案だけこっちで決めとく。

○副委員長（治徳義明君） どのくらいにまとめるわけですか。

○委員長（岡崎達義君） この3ページ目を全部切るぐらい。

○委員（金谷文則君） 基本的には議会の関係に近いようなものを考えりゃあええんじゃないな。

○委員長（岡崎達義君） そうです、そうです。

○委員（原田素代君） 大体おおよそ3分の1。

○委員長（岡崎達義君） 3分の1です。

○委員（原田素代君） 赤坂だと15あるから、5つぐらい。

○議長（小田百合子君） 暫時休憩にしてる。

○委員（原田素代君） してない。

○議長（小田百合子君） してないやろう。

○委員（原田素代君） さかのぼって暫時休憩。

○議長（小田百合子君） さかのぼって暫時休憩。

委員長、さかのぼって暫時休憩にしたらどうかな。

○委員長（岡崎達義君） ちょっと暫時休憩します。

○議長（小田百合子君） それぞれでやってる間をテープ回してるわけだから、委員会だから。

○委員（原田素代君） いやいや、言っとかないと。

○委員長（岡崎達義君） 暫時休憩します。

午前10時34分 休憩

午前10時37分 再開

○委員長（岡崎達義君） それでは、暫時休憩に引き続きまして会議を開きたいと思います。治徳班から……。

○副委員長（治徳義明君） 佐々木委員のほうが発表します。

○委員長（岡崎達義君） はい、お願いします。

○委員（佐々木雄司君） 読み上げればいいですか。

○委員長（岡崎達義君） はい、どこがどうなったかを教えてください。

○委員（佐々木雄司君） はい。まず、中央公民館から参ります。一番上の新設の松木云々のくだりでありますけども、1行目、一番上の、伴いの「い」を「う」に直します。2段目の生徒の通学から質問及びまで削除。

○委員（原田素代君） 通学から。

○委員（福木京子君） 通学から。

○委員（原田素代君） えっ。

○委員長（岡崎達義君） 生徒の通学。

○委員（佐々木雄司君） 生徒の生から及びまでです。

○委員（松田 勲君） 2行目やな。

○委員（佐々木雄司君） 2行目です。

○委員（福木京子君） ずっと削るんじゃない。

○委員（佐々木雄司君） はい。削ります、はい。

2番目行きます。2番目の丸、小規模多機能施設にその後補助金となってあるものを、補助金3,000万円を出しているがを削除。補助金の上に「ついて」と振ってください。ですから、小規模多機能施設についてということです。後はもうそのままということです。

3番目の丸、産業建設常任委員会報告の中でを切ります。2行目へ参ります。メリットがあるのではないかの丸の後の、との質疑に対してから、「と」からですね、3段目の、それで終わりなのかまで消します。括弧書きも全部消します。4番目の丸へ参ります。山陽団地の云々というところの1行目はそのまま残します。2行目の買い物弱者対策等、これを全部消します。

○委員（福木京子君） 全部消すん、最後まで。

○委員（佐々木雄司君） はい、消します。買い物の「買」から「。」まで消します。率先して取り組むべきではないか。5番目の報告会について、本日の参加者（中央公民館は）まで消します。約20名の後ろに「。」をつけて、とめ丸をつけて「だが」を消します。最後の「である」を消します。

○委員（原田素代君） もう一度、全部読んで。

○委員（佐々木雄司君） はい、行きますよ、最初から行きます。

新設の松木から下市間の市民バスがどのようになるのか。宇野バスの減便に伴う市内全域の交通体系の改善の要望。

2番目行きます。小規模多機能施設について。過去の失敗を踏まえてどのように取り組むのか。また失敗した場合の責任の所在はどこなのか。

3番目、太陽光発電は直営で経営したほうが財政的にメリットがあるのではないかな。なぜもっと深く議論しないのか。

4番目、山陽団地は住宅専用地域だが、今後県との話し合いをどのように取り組むのか。

5番目、報告会について約20名。少な過ぎる。広報活動のやり方を考えるべき。

○委員（原田素代君） 約20名、少な過ぎる。

○委員（佐々木雄司君） ああ、20名。とめ丸です。

○委員（原田素代君） 「。」で、少な過ぎる「。」。

○委員（佐々木雄司君） はい、少な過ぎる。

○委員（原田素代君） はい、わかりました。

○委員（佐々木雄司君） あと熊山があります。

1ページはぐっていただいて、熊山参ります。

一番上、地酒で乾杯条例は、その次の、なぜ条例なのかを消します。例えば、も消します。強制的なものを感じる、から一番最後のないまで消します。

○委員（原田素代君） 意見は残したほうがいいんじゃないん。強制的なものを感じるというのが意見なんでしょう。

○委員（佐々木雄司君） スローガンでアピールでよかったのではないかとということで、反映しているかなということ、二重になってるような気がしました、はい。

○委員（原田素代君） はい、わかりました。

○委員（佐々木雄司君） 2番目の丸へ参ります。

災害対策についての分ですけども、2段目の周知徹底してほしいの「ほしい」から、また自主防災組織や避難所等の中まで消します。3番目はそのまま残します。4番目もそのまま残します。5番目、円光寺地区から、あっ、4番目は全部消します、これ。民間の話なんで。

はい。5番目、赤磐市環境センター、入札はの後の試算と落札金額の差が大き過ぎる、大き過ぎるのではないかまで消します。ですから、ここのところは、赤磐市環境センター（エコプラザあかいわ）入札は問題はないのかというようなあれになります。

次、小学校35人学級の実態は評価するがの後、問題はから、複式学級がふえまで消します。これ何番目かな、地域医療ミーティングのメンバーは、ということですけども、審議内容等はどのようなものなのかを消します。一番最後のふれあいパーク、一番下の段ですけども、もとの後の発言を強めてを消します。

読み上げます。

一番上、地酒で乾杯条例は、スローガンやアピールでよかったのではないかな。

2番目、災害対策について、ハード面だけでなく、ソフト面の施策をしっかりとやってほしい。特にハザードマップ等を周知徹底して、災害弱者対策をしっかりとやってほしい。

3番目、そのまま残ります。4番目、そのまま残ります。5番目は全削除。

6番目、赤磐市環境センター（エコプラザあかいわ）入札は、問題はないのかな。

7番目、小学校の35人学級の実施は評価するが、学校の統廃合の懸念がある。この問題をどのように考えているのかな。

8番目はそのまま残ります。

9番目、地域医療ミーティングのメンバーはどのように人選したのかな。傍聴に行ったが全く機能していないように感じた。赤磐市の地域医療についてもっと真剣に考えていくべきである。

10番目ですかね、これ。10番目はそのまま残ります。

11番目、ふれあいパークは一部事務組合で管理をしているが、施設は赤磐市内にあるので、もっとよりよい施設にしてほしい。

以上です。

○委員長（岡崎達義君） ありがとうございます。

○委員（松田 勲君） 赤磐市いうのはもうとったらええんじゃねえん。

○委員（佐々木雄司君） ああああ、でいいと思います、ええええ。

○委員（松田 勲君） 赤磐というのは取ったほうが、結構赤磐があるけど。

○委員（佐々木雄司君） はい。

○委員（福木京子君） 11問。

○委員（佐々木雄司君） ああ、そうですね、ええ。

○委員（松田 勲君） 結構ある。

○委員（佐々木雄司君） はい。赤磐は全部飛ばしていただいて、市に直していただいて。

○委員長（岡崎達義君） 全ての文章の中で、赤磐は全部取っていただいて市にしていだければと思います。

次、桜が丘いきいき交流センターの会議室を福木委員からお願いします。

○委員（福木京子君） 割と全体で8つ残したんです。一番最初はこれは入れない。それから2番目、赤磐市のホームページは、これはそのまま入れます。

○委員長（岡崎達義君） これは市の。

○委員（福木京子君） ああ、市、赤磐は取ってね、市のホームページ。それから3番目、これもそのまま残します。それから、4番目は削ります。

○委員（原田素代君） カットですね。

○委員（福木京子君） あっ、カットです。それからその次、医師会病院もカットです。それから、その次の、医師会病院は赤磐市の中核病院であるが、これは入れます、このまま入れます。それから、その次、エコプラザあかいはの煙突から出るダイオキシン、これも入れます。それから、次のアクションプランで6億円の削減の根拠は、これも入れます。それから次、赤磐市は財政破綻を起こすのではないか、これはカット。その次の、市議会だよりは豪華過ぎるのではないか、これもカット。それから、次の、なぜ議会閉会后3カ月もかかって発行なのか、これもカット。それから、教育改革で学力向上のための人的配置はよかった、これもカット。その次は入れます。その次は全部入れます。それから、次の、学力をつけるための学習の手引き、これも入れます。このまま残します。それから、その次、地域性を生かして企業誘致の推進や、これも入れます。それから、あと4つともカットです。合計8残して絞ったんですが、ぜひ入れたほうがいいんがありましたら言ってくだされば、一応8つぐらいは地域的なあれで入れたほうがいいんじゃないかと思っております。

○委員長（岡崎達義君） 続いて吉井地域をお願いします。

○委員（福木京子君） はい、吉井、吉井のほうを見てください。

吉井は、これは5つに絞りました。一番最初の、議会報告会は参加人数、これはカット。その次の、議会報告の参加人数をふやすように、これもカット。それから、その次の、小学校の少人数学級をふやしていく、これは入れます、このまま入れます。それから、その鳥獣被害には難儀をして、これはカット、入れたほうがいいんかなあ、まあカットにしました。その次の焼却場の管理委託の入札金額、これはカット。それから、その次の、周匝地域でボランティア活動をしているが、これは入れます。それから、その次の医療体制で懇談会をしているが、これも入れます。それから、その次の環境問題を心配している、これはカット。ごみの不法投棄が多くて困っている、これもカット。その次の、吉井地域の隅のほうに住んでいるが、合併してよかったのか、これは全部入れます。一番最後、合併して寂れていくばかりで、吉井支所も職員を減らして、これも入れます。だから、5つ入れます。

○委員（原田素代君） 最後の2つは同じ意味じゃないですか。

○委員（福木京子君） ふううん。

○委員（原田素代君） 一つにしたほうが……。

○委員（福木京子君） 一つにしたほうがいいですかね。

○委員（原田素代君） うん。

○委員長（岡崎達義君） そうじゃな。

○副委員長（治徳義明君） それで、福木さん。この文章は別としても、鳥獣被害の吉井は入れてもらえませんか。

○委員（福木京子君） あっ、入れたほうがいい、はい。ほったら、済みません。

○副委員長（治徳義明君） 絶対入れとったほうがええですよ。

○委員（福木京子君） 上から4番目の鳥獣被害に難儀をしている、補助をお願いしたい。これ入れます。そのかわり、一番最後を減らしますか。

○委員（原田素代君） 作文したらいいんじゃない、もう一つを足して一つに。

○委員（福木京子君） まあいいんじゃない、これで。一番最後はカットしてください。

○委員長（岡崎達義君） 一番最後は、だからほんならあれじゃない、合併して寂れていくばかりで、吉井支所の職員も減らしてまでをカットして、この後に、何とかならないか、交通量も半分になった、活性化策を考えてもらいたいと続ければ。

○委員（福木京子君） ああ、前の何とかならないかの次に、交通量を入れるんじゃない。交通量も半分になった。活性化策を考えてもらいたいというのを入れるということですね。

○委員（松田 勲君） 吉井の地域の隅のほうに住んでいるというの。

○委員長（岡崎達義君） これも要らないな。

○委員（福木京子君） ほしたら、これ削ってください。

○委員（松田 勲君） この人の個人的なこと。

○委員（福木京子君） 合併してよかったのかというところからね。

○委員長（岡崎達義君） 吉井からこれ要らないよな。

○委員（福木京子君） はいはい。じゃあそうしてください。

5つに絞りました。あっ、6つになりましたね、そしたら。6ですね。

○委員長（岡崎達義君） 5、5。

○委員（福木京子君） いやいや、ああ、5になる、5か、5ですね、はい。5です。

○委員長（岡崎達義君） ありがとうございます。

○委員（佐々木雄司君） 済みません、1個気になりごとなんですが、桜が丘のほうの、これ何番目か、13番目、上から13番目。

○委員（福木京子君） 内容を言うてください。

○委員（佐々木雄司君） この問題行動が多いって、何となくわかるんですけど、何を意味しているのか、全くわからない。多分子供の学校のことを言ってるんだと思うんですけど。

○委員（福木京子君） 市の対応部署がない。

○委員（佐々木雄司君） そうでしょう。

○委員（福木京子君） うん。

○委員（佐々木雄司君） 誰がどこの。

○委員（松田 勲君） 主語がねえからわからん。

○委員（原田素代君） 子供の……。

○委員（佐々木雄司君） まあわかるけど。

○委員（原田素代君） 問題行動なのか。

○委員（佐々木雄司君） わかるように括弧して。

○委員長（岡崎達義君） これ福木さんまとめたんですから、福木委員がちょっと調べて、主語をちょっと探していただきます。

○委員（福木京子君） はい、わかりました、問題行動ですね。これは子供なんじゃけどな。

○委員（金谷文則君） 子供なんじゃけどなというたら子供入れりゃあええが。

○委員（福木京子君） そしたら、もう子供を入れてください、前子供と入れりゃあええですか。

○委員（金谷文則君） 子供のじゃろう。

○委員（福木京子君） はい、子供の。市のちょっと個人的に相談を受けていうのは削ろうか。

○委員（松田 勲君） うん、そこは要らんとこじゃな。

○委員（福木京子君） 市の対応部署がないと。ないので、相談窓口を一本化して対応してもらいたい。はい、そういうふうにさせてください。子供の問題行動が多い。市の対応部署がないので、相談窓口を一本化して対応してもらいたい。多いで「。」かな。

○委員（松田 勲君） 多いで「。」じゃ。

○委員（福木京子君） 「。」じゃな。

○委員（松田 勲君） 大分減ったんじゃ。

○委員（福木京子君） そうですね。

○委員長（岡崎達義君） はい、次、赤坂お願いします。

○委員（金谷文則君） 赤坂のほうをお伝えします。全部で5つに集約しました。

まず、一番最初の消防本部の云々というところの、消防本部だけを下のごみ焼却場のところへくっつけて、消防本部もごみ焼却場もとつないでいただきたい。それで1つにします。それから、あと2つ、PMから西窪田、これは削除します。次の赤坂の下水道工事、そのまま。赤坂支所の横の池も、これもそのまま。イノシシから5つ削除、教育問題は残します。

○委員（福木京子君） ゆっくり言うて。5つ削除じゃな、はい、はい。

○委員（金谷文則君） はい。教育問題を残します。アクションプラン云々も残します。あとの2つは削除します。

以上です。

○委員長（岡崎達義君） ありがとうございます。

わかりましたか、事務局。

○議会事務局主査（大饗 剛君） はい。

○委員長（岡崎達義君） よろしいですか。

これで一応大分減りましたので……。

○委員（福木京子君） 熊山のとこ数が多いんじゃないん。

○委員長（岡崎達義君） そんなことはない。

- 委員（福木京子君） 何ぼじゃったかな、熊山。
- 委員（佐々木雄司君） 熊山は9個ぐらい。
- 委員（福木京子君） ああ、9個ぐらいじゃったな。
- 副委員長（治徳義明君） 人数も多いから。
- 委員（福木京子君） ああ、多い。
- 副委員長（治徳義明君） 長かったし。
- 委員（金谷文則君） 15名も来とる。
- 委員（松田 勲君） それどう捉えたらいいん。
- 委員（福木京子君） 絞れるんじゃないらもう2つぐらい減したほうがええけど。
- 委員長（岡崎達義君） いいんじゃないですか。とりあえず入れてみましょう。
- 委員（松田 勲君） とりあえずこれでやってみたらええがな。
- 委員長（岡崎達義君） これでちょっと整理していただけますか。あす議会のときに皆さんに一応了承を得たいと思いますので。
- 議会事務局主査（大饗 剛君） はい。
- 委員長（岡崎達義君） よろしくお願いします。
- ほかに何か。
- どうぞ、原田委員。
- 委員（原田素代君） この原稿はもう事務局にお願いしちゃうんですか。大丈夫ですか。そういう話じゃなくて、こっちで一応原稿を仕上げてもらって集約する予定じゃなかった、大丈夫。
- 委員長（岡崎達義君） いや、ですから、こういう形で一応入れていただきますから。
- 議長（小田百合子君） きょうのあすは無理やわ。
- 委員長（岡崎達義君） きょうの、あすじゃない、この集約だけ。これとったやつを一応、全部とったやつをね、パソコンの中ですぐできるでしょう。とったやつをあす議会の中でちょっと見せたほうがいいなということです、そうでしょう。
- 委員（松田 勲君） はい。
- 委員長（岡崎達義君） そのほうがいいんですよ。
- 委員（松田 勲君） よろしい、見せたほうがいいです。
- 議会事務局主査（大饗 剛君） とりあえずこれはさせてもらいます。
- 委員（原田素代君） 老婆心だけど、それでもうあとはそっちが全部受けちゃって大丈夫ですか。ここで原稿を仕上げなくても。
- 委員長（岡崎達義君） いや、できませんから、その原稿を仕上げるたって、パソコンもなければ何もないんだから。
- 委員（原田素代君） いやいやいやいや。

○議会事務局主査（大饗 剛君） 一応どういうレイアウトにするかを話し合っていたかかないと。

○委員長（岡崎達義君） だから、これから、それはこれからしますので、とりあえずこれを……。

○議会事務局主査（大饗 剛君） とりあえずこれ……。

○委員長（岡崎達義君） あす見せれるような状態にしてほしいと。

○議会事務局主査（大饗 剛君） はい、あすまでにはさせていただきますので。

○委員長（岡崎達義君） 今の全部削ったのとか、直したのをね。

○議会事務局主査（大饗 剛君） その後、どういう感じのものにするかというのは、決めていただかないとあれなので、はい。

○委員（原田素代君） はい、わかりました。

○議会事務局長（富山義昭君） じゃあ、そういうことであれば、関連で。

○委員長（岡崎達義君） はい、どうぞ、局長。

○議会事務局長（富山義昭君） 失礼します。先ほどページの話が出ていました。確認をいたしまして、広報のほうでは、ページにすれば3ページまで予定をさせていただいてるようです。特集になるつもりでしておられるようですので。表紙があります。表紙を開くと見開き2ページ、それからその次がさらに1ページで、3ページまでは予定をさせていただいてるようです。したがって、今お話をいただいてあります各会場のことが、例えば見開き1ページにあれば、次の1ページが、見開き2ページになるかどうかは別として、次の1ページは、例えばこの浅口の例をとらせていただきますと、一番冒頭の右上にあります、集約したような記事、それからホームページにも載せておりますが、例えば参加者のうち、年代とか男女比ぐらいを載せていくこともできると思いますので、今のところ広報特別委員会では見開き3ページ、ページ3ページまで予定をさせていただいてるということです。

なお、一つ条件が、条件といいますか、昨今、一般質問が多くなっているものですから、なかなか厳しいところもあるようです。年間契約を80ページでしてるものですから、来年度はまた考えるんでしょうけど……。

○委員（佐々木雄司君） 行革じゃな。

○議会事務局長（富山義昭君） そういう意味でいうと、3ページが限度かなということですね。その他の記事を多少削っていけば3ページまで確保できるということで、今確認をさせていただきましたので、今の予算状況の中では、そこまでがまず通常の予算ベースでいけば3ページまでは確保できるということを確認させていただきました。よろしくお願いします。

○委員（佐々木雄司君） ということになれば……。

○委員長（岡崎達義君） はい、どうぞ、佐々木委員。

○委員（佐々木雄司君） というような内容になれば、せつかく今この場所で文言の修正と

うか、ちょっとやったわけですから、あとでき上がった事務局のほうでこの文言の削除というか、添削をしていただいたものを、今度広報委員会のほうに上げて、広報委員会でそのきりもみしてもらったらどうかなと思ったりするんですけど、そうしなければ、こっちでもう選考してあまだこうだという紙面をつくって、その紙面に向こうに当てはめてって言ってたら、何か二度手間になるような気がして、だからデータはあるわけですから、データを広報委員会に渡して、これで紙面をつくってくださいよというような話のほうが、僕は効率的じゃないかなと思うんです。

○委員（金谷文則君） 賛成。

○委員（原田素代君） それは受けれないと思うな。もう決まっているから、広報編集委員会は、分担は。

○副委員長（治徳義明君） 日程が決まっていますからね、もう。

○委員長（岡崎達義君） いや、そうじゃなくて、佐々木委員の言うのは、とりあえず広報でこういうのを、ここの紙面を云々するんじゃなくて、広報でやってくれていうことでしょうか、このレイアウトとかいろいろなことは。そういうことですよね。

○委員（松田 勲君） 原稿は出すけど……。

○委員長（岡崎達義君） うん、原稿はもう出ているんだから、広報でこのレイアウトとかいろいろ事務局でやってもらったものを練ってくれということですよ。

○委員（原田素代君） 一応うったては、最初に聞いたうったては、ここが責任を持って広報のほうに掲載するといううったてだから、広報委員会がそれを原稿だけいただいてレイアウトをさせていただくという話にはなっていない。最初の予定では。

○委員長（岡崎達義君） いや、だけど、だけど……。

○委員（原田素代君） だから、ここがそうしてくれというのであれば、それは議長の判断に任せる。

○委員（金谷文則君） 議長がどうか言われる話になってくるな。

○委員長（岡崎達義君） いや、けどこういうものがすぐには出てこんでしよう、今。今の段階で。

○委員（原田素代君） いや、だから……。

○委員（福木京子君） いいですか。

○委員長（岡崎達義君） はい、どうぞ。

○委員（福木京子君） やっぱし最後はここで責任を持ったほうがええと思うんですよ、一応のレイアウトは。だから、これがこういう案が出とんだから、ある程度こういう分に倣ってやろうということで、だから結局この挨拶なんかは考えにやいけんわけだから、ここで。だから、今3ページになるんだから、ちょうど今集約したんが入ると思うんです。だから、ある程度ここで責任を持って……。

○委員長（岡崎達義君） いや、それをやると、もう一回集まらないといけないことになるんです。

○委員（原田素代君） 当たり前じゃない。

○議長（小田百合子君） 集まったらいいんじゃないですか。

○委員（原田素代君） 集まっていいじゃない、何でそこをはしよるの。

○委員長（岡崎達義君） いいの。

○議長（小田百合子君） いや、そうしないと……。

○委員（原田素代君） おかしいよ。

○議長（小田百合子君） やはり、広報委員会のほうは、一般質問を入れるとか、ほかの担当する記事のあらましなんかをつくるとかいっぱいある中で、やはりここでやってきたことがよくわかってる皆さんがこういうふうにつまどめたものを、誤字脱字は直してもらおうとしても、そこまでは責任を持つべきだと思うんです。でないと、広報委員会がうまいことしてくれなかったなんていう、そういう結果にもつながるから、絶対文句を言う人が出てきます。

○委員（金谷文則君） ここに広報の方おられたっけ。

○委員（原田素代君） はい。

○委員（金谷文則君） ああ、ほんならちょうどいいや。

○副委員長（治徳義明君） そういう問題じゃない。

○議長（小田百合子君） 福木さんが言うたように、やっぱり文章も挨拶文も考えにゃいかんし、そんなん事務局も困るし。

○委員（金谷文則君） それぞれの責任者の人がおられるし、もう絶対それ以外にないわ。

○委員（原田素代君） 意味がわからない、言ってる意味が。

○委員（金谷文則君） 意味がずっと通じたよ、これ。

○委員（原田素代君） ここが汗をかこうっていう前提がないと意味がないでしょう、基本条例の意味が。

○委員（佐々木雄司君） まあまあ。

○委員（原田素代君） おかしいよ、考え方が。

○委員長（岡崎達義君） いやいや、そう興奮しないで冷静に。

○議長（小田百合子君） ようわけがわかってる人だったらね、ああしてこうしてっていうアイデアも出せるだろうけど、そりゃあ無理よ。

○委員（佐々木雄司君） じゃあもうそっちの方向に、じゃあみんなで汗をかく方向でいくと。

○委員長（岡崎達義君） 松田委員。

○委員（松田 勲君） まさに、ですから、どちらにせよやらにゃあいけんのじゃからあれなんですけど、今の集約したのが、例えば3ページ分、どのくらいになるかという、普通の字の

大きさと、読める大きさと、なるかというのがわからんが。それによってあとこの挨拶文がどのくらい要るんかというのもあるし、写真が5つ入れたとして、その辺のバランスをやっぱり一回誰かがやってみないとわからん。それは事務局でちょっとはめるだけはめてみて、どんなかというのはできると思うんで、その後に挨拶文を入れるとか、何か入れるとかというようになると思うんですけど、もうそうやって具体的にいかんと前へ進まん。

○委員（原田素代君） はい、委員長、委員長、いいですか。

○委員長（岡崎達義君） はい、どうぞ。

○委員（原田素代君） 一番最初に班長会で確認したと思うんだけど、報告までここがやるということになってたと思うんですよ、班長会議で。それで、今、松田さんがおっしゃるのは、松田さんも御経験あると思うけど、広報編集委員会はちゃんと原稿用紙をいただいて、それにちゃんと自分たちが落とし込めばいいわけですよ。

○委員長（岡崎達義君） うん、いや、だから……。

○委員（原田素代君） 事務局にやらせなくて。

○副委員長（治徳義明君） 班長会議でやることになったんですか。

○委員（原田素代君） そうです。ここが責任を持って報告までやるっていうのは確認してるんです。

○副委員長（治徳義明君） ここは……。

○委員（原田素代君） ふん。

○副委員長（治徳義明君） 条例、班長会じゃないですけどね、ここは。

○委員（原田素代君） いや、だから、班長会からこっちが引き継いだということになったわけでしょう、この間の話で。班長会はもうここまでだと。あとは基本条例のほうで、戻すっていうから、やろうと思ったけど、こっちになったから、で、原稿はちゃんと皆さんが各班の担当の班長さんになっていただいて、原稿を落としてもらって、それを要するにボリュームはこっちが見てくれますから……。

○委員（松田 勲君） いや、だから、だから先に……。

○委員（原田素代君） そこまではおやりにならないと。

○委員（松田 勲君） ちょっと。

○委員（福木京子君） 手を挙げてやってください。

○委員長（岡崎達義君） どうぞ、松田委員。

○委員（松田 勲君） 私が言よんのは、先に今の集約したのがどのぐらいのボリュームになるかというのがわからんのでしょ。

○委員（原田素代君） だから、それは原稿に落とさないで。

○委員（松田 勲君） 落とさないで。だから、まずそれを落としてもらって……。

○委員（原田素代君） いや、それは私たちが……。

○委員長（岡崎達義君） ちょっとちょっと、ちょっと話を聞いてください。

○委員（松田 勲君） それは落としてもらって、もう入れるのはわかるとるから、わかるとる写真とかはもうとりあえず入れてもろうたら、きちっと並ばんでもいいんや、とりあえず入れたらどのぐらいのボリュームかというのがわかるから、それだったらもうちょっとここを膨らまそうとか、いろいろ出てくると思うんです。だから、それをまず事務局でやってもろうたらいいんじゃないかな。そのぐらいそう難しい……。

○副委員長（治徳義明君） 済みません。

○委員長（岡崎達義君） はい。

○副委員長（治徳義明君） ということは、7日までにもう一度この会をするということで理解でいいんですか。

○委員（松田 勲君） うん、それはもうここで。

○副委員長（治徳義明君） そういうことでいいんですね。

○委員（松田 勲君） 大体もうこれでいくよというのでもう渡したらいいじゃないですか。もうびしっと最後までではできんにしても、ある程度レイアウトができて、原稿も入って、あとはよろしくっていうんなら出せとる思うんだけど、そこまではすればいい……。

○委員長（岡崎達義君） どうぞ、金谷委員。

○委員（金谷文則君） 実際、みんな経験されとると思うんだけど、広報をやったときに、手順ちゅうのがあって、今の割り振りで、要するに5カ所あって、5カ所をどういうふうな段落で入れるかっていうのは、原稿用紙へ割り振りがあるわけで、何行におさめてっていうふうなことまで一応制約があって皆さんもらって、それに書いて出してるわけでしょう。それを編集委員会の皆さんがそれを誤字脱字があるかないかぐらいのことをチェックしてやりようるわけだから、一応今の掲示のフォーマットがないと、これ、例えば片一方のところが大きいつて9件も上げて、そこが字数が100文字になった、こっちは50文字だったっていったりしたら、そりゃあここの事務局もやれえというても難しいと思うから、するんだったら割り振りをして、ここにこういうふうに埋めてくださいちゅうのを出さないと、そりゃあできんと思うよ、今。それよりか、私はだあっと羅列していくような形で上げていくしか、僕は今の時間的な余裕からしたらもうないと思う、3ページのところへ普通にに入れてもらうしか。

○委員（松田 勲君） 議会広報のほうへこれいつ出すん、いつまで。

○委員（金谷文則君） 7日やろ。

○委員長（岡崎達義君） 7日です。

○委員（松田 勲君） 7日が最終日。それは一般質問じゃないん。

○副委員長（治徳義明君） 8日でしょう、広報委員会が。

○委員長（岡崎達義君） だから7日まで。

○副委員長（治徳義明君） じゃから7日と言われるんだと思うんです。

○委員（金谷文則君） だから、それをするとしたら、みんなつくって原稿を出すのは経験があるんだから、それを見たら、そんなもん、文字数まで制約してやっとなのだから、そういうやり方はちょっと難しいと思うよ。もう決めた今の文章のやつを当てはめてもらうように僕は入れてもらったほうがいいと思います。

○委員長（岡崎達義君） 要するに、こういう形、これはちょっとたたき台みたいな形になってるんですけど、こういう形で2ページ分をつくって、それからもう一ページ分はアンケートみたいな形でこういうのをに入れて、それをもう一度委員会を開いてそこで検討するということですよ、福木さんの言われとったのは。

○委員（福木京子君） 最終的に責任を持たにゃあいけんということですね。それと、この挨拶を誰が書くか、委員長が書かれにゃいけんのじゃないかと思うんですけど。

○委員長（岡崎達義君） そんなことはない、まあいいんですけど、それは……。

○委員（福木京子君） それが済みゃあもうそれへはめりゃあいいわけで、できると思いますけど。

○委員長（岡崎達義君） いや、佐々木委員が言われたのは、もうそういうフォーマットはできてるわけだから、それにずっと文章を流し込んで、こういう形につくってしまうと、もう後は議会広報でいろいろ誤字脱字だけ考えてもらえばいいんじゃないかということですよ。

○委員（佐々木雄司君） そういうことです、はい。

○委員（金谷文則君） これ見てごらん、この、2ページ目を開いて、赤坂でやったやつと熊山のふれあいのやつをばっと見たボリュームだけだって、1ページのところの班割で考えたときに、どんだけの割り振りになりますかこれ。そんなもんでいくわけがない。もう出たやつをざあっと、少々ページは違っても、熊山が1ページこっち側手からここまで来たりするような格好で入れていくしかないと思うよ。できないと思うよ。いうんじやったら、きちっと割り振りをして、ここへ何ぼの幅できちっと置いてやって、そりゃあみんなで作るならやらにゃいかん。経験上、ちょっと難しいと思う。やるんなら今度は来年もそういうふうにしましょうと。

○委員（松田 勲君） とりあえず入れる内容をもう一回ちょっと確認したらええ。

○副委員長（治徳義明君） いや。

○委員（松田 勲君） その3ページというのが後から出た話じゃけえ、その3ページの中に入れる内容を確認して。

○委員長（岡崎達義君） ですから、これはこのまま入れればいいんでしょう、今直したまま、今直したままをね。

○委員（金谷文則君） こういうふうにすると、うちの議会だよりの委員会でやってるような、原稿の中に落とし込んだ形で割り振りをしていかんと、多分できないし、字の大きさがまちまちになってしまうじゃないですか、文字数が違うんだから。だから、こういう形には僕はできないと思う。

- 委員長（岡崎達義君） ああああ、この形にはできない。
- 委員（金谷文則君） うん。
- 副委員長（治徳義明君） いやいや、逆にこういう形にしてもらって、もう一度会合があるんならばこの長さにいびつがあるんなら、そこでカットしていかないよ。
- 委員（金谷文則君） してもらってという感覚じゃあいけないというのが大前提の話でやりようのわけじゃろう。やるんだったらうちが用意をして、これに入れてくださいって編集委員会に出さないといけませんよという大前提の話をしてるわけじゃ。
- 副委員長（治徳義明君） いやいや、こういったレイアウトはしてもらわなきゃどうにもならないんで、このいびつになる。
- 委員（金谷文則君） 誰がするのかという話ですから。
- 副委員長（治徳義明君） 今のあれだったらいびつになるじゃないですか。恐らく熊山が一番長く、それが全体を見てもう一度会合があるんだったら、そこでカットしていきゃあええが。
- 委員（金谷文則君） だから、そのレイアウトをここで決めなきゃいけないという大前提でスタートしなきゃいけないというのが今の話でしょう。
- 副委員長（治徳義明君） レイアウトは基本的にこのレイアウトをするわけでしょう。
- 委員長（岡崎達義君） いや、別にレイアウトは決まってない。
- 委員（金谷文則君） いや、それならそれでええんよ。だけど、ここでやっていかにゃ、私たちがやらなきゃいけませんよと……。
- 委員長（岡崎達義君） 私たちがやらなければいけないというのは、レイアウトまで決めないといけないということなんですか。
- 委員（原田素代君） もちろんそうです。
- 委員（佐々木雄司君） ということになったら、もう文字数であるとか、どこが5等分して文字数がどうで、ポイントが何個でというところまでルールづくりからして、もう一回この…
- 委員長（岡崎達義君） もう一回……。
- 委員（佐々木雄司君） 消したりつないだりしましたけど、もう一回やり直しせんと、今はもう一回もとに戻して、そういうことになります。
- 委員長（岡崎達義君） いや、だから、もうレイアウトから何から何まで全部するんだったら、誰か一人にお願いして、そのレイアウトまでしてもらって、ここのメンバーの誰かが、してもらって、そこにこの今言った原稿を流し込んで、それで自分でこれでいいですかっていうのをもう一回やっていかないと、ここでだけでやるんだったら、そうしないとだめだっていうことを言われてるんでしょ。だから……。
- 委員（佐々木雄司君） ルールを、例えばマス目を切って、熊山なら熊山、どこのところも

全て100文字なら100文字におさめてくださいと。100文字の中であれば、何項目書いてもよろしいと。

○委員長（岡崎達義君） そうそう、そういうことです。

○委員（佐々木雄司君） 枠組みを決めなきゃいけない。

○委員（金谷文則君） 写真が1枚入りますから。

○委員（佐々木雄司君） 1枚から入りますよと、ではそのルールを最初にぼんちとつくって、その中で各班のほうで分担して、じゃあこの100文字の中に何を入れましょうかと、100文字が200文字、300文字になるかわからんけど。

○委員（松田 勲君） ちょっとやっぱり会場ごとにまた違う……。

○委員長（岡崎達義君） だから、もしうちでするようになる、ここだけでするようになるんだったら、松田君が前に宣伝のあれを持ってきてくれたよね、ああいう形を誰かがしてこないとだめっていうことになる。

○委員（福木京子君） みんながそっち集中しとる。

○副委員長（治徳義明君） 済みません。

○委員長（岡崎達義君） はい、どうぞ。

○副委員長（治徳義明君） ややこしくないと思うんですけど、これ集約した分がこういったレイアウトにしてくださいというでしたら、熊山は長かった、中央は短かった、これが2ページやけど3ページにかかってしまうたというのをもらえば、そこでカットして行って2ページに集約する。

○委員（金谷文則君） だから、それを誰がするかだけの話です。治徳さんが全部打ち込んでくれたやつをみんなにくれれば、みんなが検討できるし、私がつくったのを皆さんに配れば皆さんが検討できるわけ。

○副委員長（治徳義明君） いや、してもらうのは事務局にしてもらうんじゃないん。一から全部レイアウトやこうできないでしょう。

○委員（金谷文則君） いやいや、そりゃあここでやらにゃあいかんという話じゃないん。

○副委員長（治徳義明君） いや、違うと思うけど。

○委員長（岡崎達義君） 今の原田さんの意見だったらそういうことになる。レイアウトから初めからやって。

○副委員長（治徳義明君） 全部議員がするということ。

○委員長（岡崎達義君） うん、ほとんどできたやつを広報委員会へ持っていく。

○委員（原田素代君） いやいやいや、だから、発想としては、皆さんが広報委員会をやったように、与えられた文字数でとにかく原稿をそれぞれ集めて、あとはそれは組み込んでいくわけですよ、実際に。そのときに上にやる下にやるということではできると思うんです、ここで、そういうことも。

- 委員（松田 勲君） 言うのはできるんじゃないけど、するのは誰がするんですか。
- 委員（原田素代君） だから、原稿をみんなここで集めて、あとはここで流し込んでもらえばいいじゃないですか。
- 副委員長（治徳義明君） だから、事務局にやっていただくということでしょう、要は。
- 委員（松田 勲君） それを最初から言いよる。
- 副委員長（治徳義明君） そりゃあ一から……。
- 委員長（岡崎達義君） いや、だから……。
- 委員（原田素代君） だから、原稿は皆さんが出してあげたらいい。
- 委員長（岡崎達義君） いや、原稿はっていうか、もうこれできてるわけだから、これはもうパソコンの中で自由に変更できるわけだから。
- 委員（松田 勲君） 原稿は出とんじゃから、とりあえずボリュームもわからんから事務局に頼んで、流し込むなり入れといてもろうて、あとこのぐらい入るなとか入らんとかというのは、その後集まってやればいい。
- 副委員長（治徳義明君） 今入れた原稿が長うなととっても別にどういうことはないじゃないですか。
- 委員（松田 勲君） それを言よんじゃがな。
- 副委員長（治徳義明君） それでええんじゃないろう。
- 委員（松田 勲君） 初めからつくるなんて、とてもじゃないけど無理だから、フォーマットもないし、そんなソフトもないし。
- 委員（原田素代君） だから、フォーマットは今の議会だよりのフォーマットです。だから、ここは3段だけど、うちは6段なわけだから、6段にやればいいだけの話です。
- 委員長（岡崎達義君） いや、6段でも3段でもなるんですけど、自由に。
- 委員（原田素代君） なるんですけど、だから、ないわけじゃなくて、うちのやり方でやればいいと思う。ここだけ開いて全然ページが違ったらおかしいわけだから。
- 副委員長（治徳義明君） じゃから、写真を何枚使うとかという、きょう今決めとって、大体、えっ。
- 委員（松田 勲君） 各会場の写真を入れられる。
- 副委員長（治徳義明君） うん、それならそれでええんじゃないけど、決めとって、したかったら事務局さんしてくださるんじゃないかな。
- 委員（原田素代君） 落とし込むということで。
- 委員（松田 勲君） とりあえず落とし込んでもらって、きちんとした……。
- 委員（原田素代君） ただそれはあしたは無理だけどね。
- 副委員長（治徳義明君） あしたは無理でしょうな。
- 委員（原田素代君） あしたはこの削除しただけの原稿を班の人が確認してもらうのだけは

お願いして、だからそれが7日までにできるかどうか、事務局のほうか。

○委員長（岡崎達義君）　そういうことで、事務局どんなですか。

局長。

○議会事務局長（富山義昭君）　いや、そういうことであれば事務局のほうで必要なお手伝いはさせていただきますので。ただ、今言われてるように、原稿、例えばこの浅口でいえば、一番右上にある挨拶といいですか、その原稿はいただきたい、どなたかに書いていただきたい。それから、各会場ごとのものは今大体ピックアップしていただいたので、それを用意させていただく。それから、もう一つ決まり事として、各会場の写真を載せましょうということでしたら、その写真もとりあえずうちのほうで1枚ずつ、これはと思うのを選んで持っていきます。それから、ここにもありますけれども、結果、この例でいえば左上にあります、いつどこでやって、何人集まった程度のものと、それでページが余るようなら、さらにホームページに上げておりますアンケートから、集まってくださった方の年齢別の構成だとかというふうなのを、余ったところを埋める用というたら失礼ですけども、そういう順番で、絶対必要なのは、まず最初の報告文章、それから各会場の写真と今選んでいただいた文章、それからその次には、全体を把握した、いつどこでやって、何人集まったという情報で2ページあるいは3ページ埋まるかどうかで、余ればこれをしますし、足らなければ、例えばここを表を縮めるとか、それはさせていただきますので、来週一度集まっていただいて、こういうものでどうでしょうかというのを検討、確認はしていただきたい。

○委員長（岡崎達義君）　じゃあ、そういうことで、一応入れていただけますか。

○議会事務局長（富山義昭君）　もちろん、はい。そういうことであれば。

○委員長（岡崎達義君）　この挨拶はあなた書かれ。

○副委員長（治徳義明君）　委員長さん……。

○委員長（岡崎達義君）　副委員長が書くんじゃない、それは。

○副委員長（治徳義明君）　委員長さんが……。

○議会事務局長（富山義昭君）　済みません。

○委員長（岡崎達義君）　はい、どうぞ。

○議会事務局長（富山義昭君）　今そのようには申し上げましたが、最大3ページ使うということで、挨拶といいですか、まとめは冒頭要ります。各会場の写真は要ります。各会場のものを極力入れるということであれば、例えば年齢構成なんかの情報は今入れる必要はないということになりますので、そのあたりのつまりページ立て、削っていただいたんだけど、入るんなら全部入れてもいいんじゃないかというふうな御意見もあると思うんです。ですから、ひとまず大まかに、さっき言いました、この浅口の例ばかり言って恐縮ですけども、左上にあります一覧表、日時、会場、担当班、参加者、この情報が要らないということになれば、その会場のものがふやせませすし、それから私ちょっと表現の仕方が悪かったんですけども、さらにスペ

ースがとれるようなら、アンケートから見えた参加者の性別だとか、年齢比率なんかはホームページで出ているわけですから削除してもいいということになりますので、その優先順位をある程度決めといていただいたほうがありがたいと思います。

○委員長（岡崎達義君） こういうのはやっぱり入れといたほうがいいですよ、年齢構成。

○委員（松田 勲君） 入るんなら。

○委員長（岡崎達義君） 入るんなら。

○委員（松田 勲君） だから、もう原稿はある、今カットした分で進めてもろうて、それで、その分グラフとか、視覚に訴えるようなものがあつたらそっちの……。

○委員長（岡崎達義君） ただ、原稿もあれですよ、ちょっと文字が、空間があくようだったら文字を大きくしてもらったり、行間をあけてもらったり、そういうふうに工夫していただいたらいいと思うんですけど。あとはもう報告会のアンケートをやはり入れていただいたほうがいいと思います、どの会場に何人来たかとか。

それではよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（岡崎達義君） そういうことで、またたたき台ができましたら、検討したいと思いますので。

○委員（松田 勲君） いつ集まるか決めとかんと。

○委員長（岡崎達義君） そうですね、次回。

○委員（金谷文則君） 私、2、3、4といませんので。

○委員長（岡崎達義君） 1日、までできない。

○委員（福木京子君） 1日はオープン、診療所の。

○議長（小田百合子君） 土日の後やから、1日は。

○委員（金谷文則君） 月曜日が1日ある。

○委員（松田 勲君） 月曜日が1日ある。

○議長（小田百合子君） えっ、火曜日。

○委員（福木京子君） 火曜日、1日、火曜日。

○委員（原田素代君） 火曜日いません。

○委員（金谷文則君） 1日にしようか。

○委員（福木京子君） 開所式の後。

○委員（金谷文則君） 開所式の後ここへ流れると。

○委員長（岡崎達義君） ああそうしようよ。

○委員（佐々木雄司君） ああ午前中だめですね。

○委員（原田素代君） 月、火はいません。

○委員（福木京子君） 月、火、火曜はいないんじゃないな。

- 委員（原田素代君） 水曜日以降がいい。
- 委員（金谷文則君） 私がもう水曜日からいません。
- 委員（福木京子君） 金曜日しかあいてないの。
- 委員（原田素代君） 金曜日いいよ。
- 委員（金谷文則君） 水木金と。
- 委員長（岡崎達義君） 私はわからん、自分の予定。きょう忘れたから。
- 委員（福木京子君） だけど、今2人のことを考えたら。
- 副委員長（治徳義明君） 2、3、4、僕もいません。
- 委員（福木京子君） 2、3、4もないの。
- 委員（金谷文則君） うん、2、3、4。
- 委員（原田素代君） じゃあちょっと無理だ。
- 委員（福木京子君） 2、3、4ないと、30日というわけにもいかんわな。
- 委員（金谷文則君） 今調整中なんじゃ。相手はアポイントはとってあるんじゃないけど、最終的なのがちょっと……。
- 委員（原田素代君） 8日はもう無理だよ、これ入らないよ、どっちにしても。報告だけで。だから、その次っていったら第2の……。
- 議長（小田百合子君） 第2回の広報では仕上げをしてもらうだけにして。
- 委員（原田素代君） 7日は無理でしょう。本来の議会広報の仕事量をこなすので、だから7日に一遍にというのは無理だと思うの、7日までに全部出してもらうというのは。ずれてもいいじゃない。第2回の広報委員会に。
- 委員長（岡崎達義君） でも、ずれないほうがいい。
- 議会事務局長（富山義昭君） いや、済みません。
- 委員長（岡崎達義君） はい、局長。
- 議会事務局長（富山義昭君） 今手元のない原稿は、最初の挨拶とといいますか、これだけなんですよね。あとは全部ありますから、大きさだけのことなので、1日に間に合わせることはできます。ただし、かなり粗いですけど、1日に間に合わせることはできる。
- 委員（松田 勲君） 1日がだめなんじゃ……。
- 議会事務局長（富山義昭君） いらっしゃらない方、全部そろわれなくても、多い日にしていただくしかないと思うんですけど、いらっしゃらなかったら、もうメールかファクスで送ってでも確認していただくしかないと思うんですけど。
- 委員（原田素代君） 月火がない。後半はいいんだけど。
- 議会事務局長（富山義昭君） 原稿だけのことをいえば、粗原稿なら1日で、どのくらいのおさまりかというのを見ていただくことはできると思います。
- 委員長（岡崎達義君） あの日は悪い、この日は悪いというたって、集まる時ないんだか

ら。

- 委員（松田 勲君） もう1日でいいんじゃない。
- 委員（佐々木雄司君） 1日じゃったら午後にしていただくと大変助かります。
- 委員長（岡崎達義君） 1日。
- 委員（佐々木雄司君） 1日午後だったらいいです。
- 委員（原田素代君） 1日欠席。
- 委員長（岡崎達義君） ならもう1日午後にしよう。
- 委員（福木京子君） 何時ですか。
- 委員（金谷文則君） 13時半。
- 委員長（岡崎達義君） 13時から。
- 委員（福木京子君） 1時半。
- 副委員長（治徳義明君） 1時半。
- 委員長（岡崎達義君） いいですか、1日。
- 議会事務局長（富山義昭君） はい。
- 委員長（岡崎達義君） 午後1時半。
- 委員（松田 勲君） 何時から、1時半から。
- 委員（金谷文則君） 1時半でよかろう。1時というのはいつもばたばたするんじゃないか。
- 委員（福木京子君） 1時半がいいんじゃないか。
- 委員長（岡崎達義君） それではそういうことで、挨拶文が書ければ書いときます。
- 委員（福木京子君） はい。
- 委員（佐々木雄司君） これは、問いの部分なんですけど、このニコちゃんマークみたいなマークになるんですか。ホームページ上でも。例えば、モモちゃんの顔を出してみたりとか、この活用できないんですか。交通安全なんで使えないんですか、モモちゃんは。何かニコちゃんマークみたいなマークに見出しが出ていろいろなってるじゃないですか。
- 委員長（岡崎達義君） もうちょっとかわいい顔がええな。
- 委員（佐々木雄司君） ですよ。議会のマスコットキャラクターみたいななんがあるんであればそれを使うべきなんでしょうけど、ないんであれば、モモちゃん。
- 委員（福木京子君） モモちゃんは交通のあれだけ。
- 委員（佐々木雄司君） 交通なんでいけないんですかね。
- 委員（松田 勲君） 別に構わんじゃないか。
- 委員長（岡崎達義君） 構わんじゃないか。
- 委員（原田素代君） これにモモちゃんが出なくてもいいんじゃないの。
- 委員（佐々木雄司君） いや、というような感じの体を、どうなん……。

- 委員（松田 勲君） もうちょっとかわいらしいな。
- 委員（佐々木雄司君） アライグマとかね。
- 委員長（岡崎達義君） 考えてください。
- 委員（佐々木雄司君） レッサーパンダみたいなのか、ちょっとあれかなと思うんです。目が死んどるし。
- 委員（松田 勲君） アライグマがかわいい……。
- 委員（金谷文則君） ああ、間違っと思う。
- 委員（松田 勲君） 勘違いする。かえって入れんほうがええかも。
- 委員（佐々木雄司君） ラスカル。
- 委員（金谷文則君） きょうちょっと頼まれ事があるんです、アライグマの……。
- 委員（松田 勲君） 1日ですね。
- 委員（福木京子君） 1日ね、はい。
- 委員長（岡崎達義君） それでよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

- 委員（原田素代君） その他。
- 委員長（岡崎達義君） はい、どうぞ。
- 委員（原田素代君） ありますか、委員長のほうからはいいですか。
- 委員長（岡崎達義君） その他ありません。何かありますか、その他。
- 委員（原田素代君） ここは基本条例特別委員会ですよ。それで、基本条例をやっぴりもう一度、何か当初はたしか新年度ごとにみんなで確認しましょうとか、いろいろ議論をしたような記憶はあるのですが、ばたばたとこの報告会の準備に流れてしまって、基本条例の原点にもう一回確認するような機会というのは持ててないと思うんです。そういう時間をやっぴり基本条例特別委員会としてもう一度全文、全文というのは、全ての文を確認し、1年間たってみて、ここをもうちょっとこうしたほうがいいんじゃないか、ああしたほうがいいんじゃないかという意見が当然出てくると思うんです、運用上のことで。そういう検証と、それから皆さんもごらんになったと思うけど、5月28日の新聞に、最高裁が公共工事をめぐる広島府中市の場合、条例に議員2親等規制は合憲であるというのを最終的に出されたという報道がありましたが、要するにいわゆる倫理条例が、これはもう百条以降からずっと倫理条例をきちっと作りましょうという課題を私たちは持っていますので、倫理条例について近々につくっていくための立ち上げが私は必要だと思っていますので、その御提案をしたいと思っています。その2つについて、ここでそうやって進めていったほうが良いと思います。
- 委員長（岡崎達義君） ほかに御意見は。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

- 委員長（岡崎達義君） 基本条例の検証というのは、これは必要だと思います。それはまた

追っていろいろ相談させていただきたいと思います。

それから、倫理条例の制定なんです、これは新たに委員会を立ち上げないとだめですので、基本条例の中で倫理条例の制定ということにはなりませんので、これはまた何かの形で出していいただければいいと思います。賛同が得られるようでしたら、倫理条例も新たに特別委員会をつくって、その委員の中で審議していただければと思っております。

○委員（原田素代君） はい。

○委員長（岡崎達義君） はい、どうぞ、原田委員。

○委員（原田素代君） そういう形のものではないと思うのです。18条に政治倫理とあって、基本条例の中に、ここで議員としての品位を保持し、識見を養うように努めなければならないという、一般的な文章ですが、もう18条にうたっているわけですから、ここの特別委員会として、この特別委員会がそのまましないにしても、誰かが提案して賛同をいただいたらやれという話ではなくて、基本条例としてこの政治倫理の問題について取り組まなければならないとうたっている以上、この委員会としてやっぱり政治倫理の条例をどうしましょうかという議論を経て、必要性があればちゃんと委員会も別に持って立ち上げてつくるとというのが、本来だと思えます。

○委員長（岡崎達義君） 条例ですから、議会の多数を得ないと条例にはなりませんので、規則とかそういうものでしたら、恐らく市のほうでいろいろできるんでしょうが、条例ということになりますと、もう議会の審議を経た上で賛成多数で可決しないと条例という形にはなりませんので、ですから基本条例の中で倫理規定というのはあっても、これを条例に格上げしていくということには、恐らくならないと思います。

○委員（原田素代君） いや、違うんです。格上げすればいいと思ってるわけではなくて、要するに、百条以降にずっと、今までの政治倫理規定が非常に不十分であると。下手な運用にされると非常に迷惑になるようなこともあるし、きちっと、せつかく基本条例ができたのだから、政治倫理条例もつくりましょうねという議論はあったんです、記憶がある方とない方がいるかもしれないけど。ですから、私としては、この委員会の中から提案して、そこでこの条例化のために声を上げていったほうがいいと思うのです。

ある日突然全協の中でしますと言ったって、それは難しいです。ここでその必要性が議論され、基本条例にとって、政治倫理というのはどういうもので必要だという議論になったときに、じゃあ条例をつくるための委員会を持ちましょうという運びをここにつくらないとほかにするところはないと思います。

もちろんおっしゃるように条例ですから、賛成されなきゃだめなんですけど、ただ基本条例の中で私たちが進めようというときに反対する人は普通はいないと思っていますので、当然、まずつくるという仕掛けをこちらがしていくってことが求められていると思っているので、ここでそういう議論をしていただきたいなと思います。

○委員長（岡崎達義君） 議員提案で条例の制定を求めることをやれば、恐らく通るかもしれませんが。ですから、そちらのほうでまた検討してやっていただければいいと思います。この基本条例とはちょっと異質になると思いますので、ここの中で協議というわけにはいかないと思います。

だから、その基本条例の中にある倫理規定についてどういうふうにするかというぐらいはできるかもしれませんが、条例としての制定を求めるとか、条例について云々するということは、恐らく無理だと思います。だから、もう条例の制定を求めらんだったら、それは議員提案として出していただければいいと思います。

○委員（原田素代君） 確認ですけど、最後に。

そしたら、基本条例というのは、議会改革のためにこういう条例をきちっと私たちは実践していくための指針としてつくっているわけですよ。その中で、政治倫理っていうのは非常に大きなウエートを占めるものだし、そのことについて、ここで議論しないということになると……。

○委員長（岡崎達義君） ですから、ここの中ではその規定についての議論はできます。ですから、条例としての、倫理条例の……。

○委員（原田素代君） いやいやいやいや、だから……。

○委員長（岡崎達義君） 議論はできません。

○委員（原田素代君） 条例の必要性についてここで議論ができないということですか。要するに条例をつくるための議論ではなくて、倫理条例……。

○委員長（岡崎達義君） 必要性はできるでしょうね。

○委員（原田素代君） うん、だからそういう議論を私はしたほうがいいと思うのです。そういうことです。

○委員長（岡崎達義君） それは皆さんの同意を得た上で、また今度。

○委員（原田素代君） だから、私の提案です。

○委員長（岡崎達義君） していきたいと思います。

○委員（原田素代君） 基本条例にやっぱり、要するにこだわって私たち議会運営をしていきましょうと、最高法規ですから、その勸奨という意味も含めて、政治倫理というのは大きなウエートを占めているだろう。その議論はここでしたほうがいいだろうと思っているので、そういうふうに御理解いただきたい。

○委員長（岡崎達義君） わかりました。

またいろいろ委員の皆さんの賛同を得た上でやっていきたいと思います。

ほかにはよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（岡崎達義君） それでは、第2回議会基本条例特別委員会をこれで終了させていた

だきます。

どうも御苦労さまでした。

午前11時32分 閉会